



陽 心

教育目標 自主 健康 奉仕

東陽中学校区の小中学校では、毎月の14日を「トーヨーの日」として『家族団らんの日』を推進しています。1月は14日(水)です。



今月の花

白塗り木、スギ、
ルスカスグリーン、
ヒペリカム、
カーネーション

東陽中学校学校だより 文責:竹田昌彦

令和8年、新しい年を迎えました。



新年の始まりとともに、3学期がスタートしました。学校では3学期を一年間のまとめの時期、次年度に向けての準備の時期と捉えています。これまで培ってきた伝統がしっかり引き継げるように、それぞれの学年でまとめをし、振り返りを充実させる時期です。生徒の皆さんには、学習面や生活面などでやり残したことがないように、やるべきことをしっかりやり遂げ、次の年度につなげてほしいと思います。

そして、本校の目指す生徒像「積小為大＝小さな努力を積み重ねることができる生徒」と「凡事徹底＝当たり前のことが当たり前に見える生徒」を目指して、決意したことに向かって努力していきましょう。令和9年は「飛躍の9（く）」の年、皆さん一人ひとりの努力が大きな成長につながることを期待しています。

リサイクル品回収の収益 11/22(土)に実施したリサイクル品回収について、古新聞や段ボール、アルミ缶回収等、今回の活動を通して、総額273,474円の収益金がありました。収益金は、今後の生徒会活動に使わせていただきたいと思います。御協力ありがとうございました。



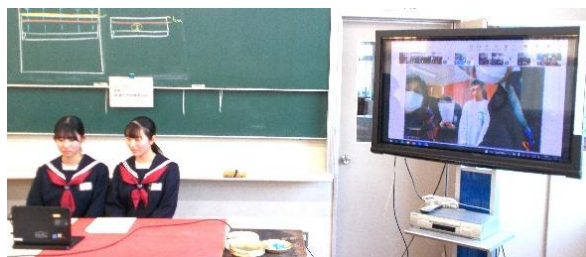
生徒会役員選挙立会演説会・投票



12/5(金)に次年度の生徒会役員立候補者による立ち会い演説会を体育館で行いました。副会長候補者が1年生7名、会長候補者が2年生9名、計14名が立候補しました。全ての候補者が東陽中の未来に向かって、自分の熱い思いを堂々と発表しました。演説会終了後には早速、投票が行われました。実際の選挙で使用されている投票箱をお借りして投票を行い、数年後に経験する選挙の模擬体験もできました。

東陽ブロック地域学校保健委員会

12/8(月)、東陽ブロック地域学校保健委員会を初めて開催しました。今年度は「食生活と歯の健康～かむ力の大切さ～」をテーマに、大宮南小学校の学校歯科医による講話や、各小学校・東陽中保健委員による発表を行いました。むし歯、カミカミメニュー、唾液、朝ごはんなど身近な課題を取り上げ、東陽中からは歯肉炎とかむ力について質問しました。Teamsを用いた小中連携の取組は、食生活を見直し健康づくりを考える貴重な機会となりました。



コミュニケーション・チャレンジ 12/10(水)～12(金)にコミュニケーション



ン・チャレンジが行われました。栃木市の4名のALTに来ていただき、生徒は1対1の面接形式で英語使ってコミュニケーションを取り、自分の思いや考えを伝えたり、質問をしたりしました。面接前は緊張している様子でしたが、自分の思いや考えが伝わったという喜びを感じ、達成感を味わうことができた生徒が多かったようです。この

体験を通して、英語に対する学習意欲や話すことへの興味や関心が高まったことでしょう。

職業人講話 12/12(金)に栃木県経済同友会の皆様

様を講師に迎え、1年生を対象とした「職業人講話」を実施しました。各分野で活躍される経営者や専門家の方々から、具体的な仕事内容や社会への思いをうかがい、働くことの意義や社会貢献の大切さを学びました。講師の方々は、進路に必要な資格や技術、これからの社会で求められる力



についても語ってくださり、生徒は真剣に耳を傾けていました。普段接する機会の少ない企業人の話を聞くことで、視野が広がり、将来の進路を考える貴重な機会となりました。講話後には振り返りを行い、感想文を講師の方へお送りしました。

滝川市との生徒会交流



12/18(木)に本校生徒会役員7名は、友好親善都市である北海道滝川市・明苑中学校の生徒会役員10名とオンライン交流を行いました。互いの学校紹介や活動報告を通じて、地域の特色や生徒会の取組の違いを知ることができ、目的である「多面的・多角的な視点から物事を捉え、客観的に判断する力の育成」に大きくつながりました。発表の場面だけでなく、休憩

時間や何気ない会話の中からも新たな発見があり、例えば学校行事の工夫や日常生活の違いに気づくことで、自分たちの学校を見直すきっかけとなりました。画面越しではありましたが、互いに笑顔で意見を交わす姿から、距離を超えて心がつながることを実感しました。今回の交流を通じて得られた学びや気づきを、今後の学校生活に生かしていきたいと思います。

「東陽中学校に関するアンケート」結果

11月下旬に実施しました「東陽中学校に関するアンケート」の集計結果が出ました。比較的评价が高い項目(最高評価は"4")については、成果と捉え、更なる推進を図ります。また、比較的评价が低い項目を改善すべき点と捉え、改善策を検討しました。今回は紙面の関係で主なものについてお知らせします。詳しくは本校のHPを御覧ください。

令和7年度 学校評価(概要)

< 成果 >

【学校は生徒会活動などの自主的・実践的な活動を積極的に行っている】

・生徒評価 3.6(前年より+0.1)、保護者評価 3.1(前年同値)

学校行事や生徒会活動が活発に行われ、充実感を得ていることが評価されています。今後も生徒主体の活動を通して、主体性や協働性を育む教育課程を編成していきます。

【生徒は、学校に仲の良い友達がいって良好な人間関係を築いている】

・生徒評価 3.7（前年同値）、保護者評価 3.3（前年同値）

登校意欲の原動力となる「友人関係」が安定して高評価を得ています。今後も「魅力ある学校づくり」を継続し、安心して通える環境を維持していきます。

【先生はひとりひとりを大切にし、思いやりのある心を育てようとしている】

・生徒評価 3.8（+0.3）、教職員評価 3.2（+0.1）

人権尊重や思いやりの心の育成に関する取組が成果を上げています。特に生徒から高い評価を得ていることは大きな成果です。

【先生は集団生活のルールや生活習慣の指導をしっかりとっている】

・生徒評価 3.7（+0.1）、教職員評価 3.4（+0.2）

生活指導の徹底が評価され、学校生活の安定につながっています。

< 課題 >

【学校の施設は充実しており、学習しやすく潤いのある環境である】

・生徒評価 3.5（+0.2）、保護者評価 2.8（+0.1）、教職員評価 2.4（+0.1）

施設面は少しずつ改善されていますが、保護者からの評価は依然として低めです。今後も市に要望し、教育環境の整備を進めていきます。

【教職員は一人一人の能力を適切に把握し、評価している】

・生徒評価 3.4（+0.1）、保護者評価 2.9（前年同値）、教職員評価 3.2（前年同値）

評価方法に対する不安の声が依然あります。テストだけでなく授業中の活動や課題提出などを総合的に評価していることを、今後も丁寧に説明していく必要があります。

【家庭学習への取組】

・生徒評価 3.2（+0.1）、保護者評価 2.6（前年同値）、教職員評価 2.6（▲0.1）

生徒の自主的な取組はやや改善が見られるものの、保護者や教職員の評価は低めです。家庭学習の習慣化をさらに支援していくことが課題です。

【感染症対策】

・生徒評価 3.5（+0.1）、保護者評価 2.9（▲0.2）、教職員評価 3.3（前年同値）

生徒からは高評価ですが、保護者の評価は低下しました。引き続き安心して教育活動に取り組めるよう、家庭との連携を強化していきます。

< まとめ >

令和7年度の学校評価では、「生徒会活動の活発化」「友人関係の良好さ」「人権尊重や生活習慣の指導」が成果として高く評価されました。一方で、「施設環境」「評価方法の理解」「家庭学習の習慣化」「感染症対策への信頼」が課題として挙げられています。

これらの結果を真摯に受け止め、今後も教育活動の改善に努めてまいります。引き続き御家庭での御支援・御協力をよろしくお願いいたします。